

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	在宅障害児者施設利用推進事業		事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	3年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市障害児者施設利用推進事業実施要綱
----------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
知的障害児者施設の有する専門機能を活用したデイサービス事業(日中に、身体機能の維持向上及び在宅生活継続に必要な援護を行う事業)を実施することにより、在宅の障害児者を支援する。		在宅の知的障害児者	
		対象数	2,007人(H14.4.1在宅知的障害者数)
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
実施施設3施設 神奈川ワークショップ (528,000円) 利用者数1名 延べ88日 秦野精華園 (705,000円) 利用者数1名 延べ235日 ワークショップ・フレンド(1,821,980円) 利用者数8名 延べ301日		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名	施設利用推進事業利用率		
指標式	利用者数(実績)/利用希望者数(待機者を含む見込)		
指標設定の意図	利用を希望する者が、利用できているかどうか把握するため		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,143	1,096	3,055	7,606	11,424
	人員・時間数	48H	48H	80H	80H	84H
	人件費	200	200	334	334	351
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,343	1,296	3,389	7,940	11,775
特定財源	1,296	424	1,167	3,432	5,292	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 待機者がいなかったため。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 重度だけではなく、中軽度の知的障害者も対象とすることで、更なる知的障害者の社会参加の促進を図ることが出来る。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 県の実綱で定められた基準単価で実施している。民間事業者がサービスを提供することにより、より柔軟な、質の高いサービスの提供ができており、効果を上げている。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 事業の性質上、市で実施することが妥当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 利用者の社会参加促進につながっている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 在宅の知的障害児者が、措置による通所サービスを利用希望しても定員を満たしている場合、日中の利用先がなく社会参加の範囲が狭まってしまう。その問題点を解消し、日中活動の場を提供する意味でも有効な事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 自己負担額について、現状ではサービス利用における実費負担のみであるが、平成15年度からの支援費制度への移行に伴い、どう対応するのか検討する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 増加するニーズの中で、さらに充実していくことが求められる。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県の実綱で定められた基準に基づき事業を実施しているため、他自治体と大きな差異はない。
	今後の進め方 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		

8 二次評価における変更点